



平成24年2月11日(土) 第3回新成人議会開催! 11人の新成人議員が登場!



県立大生
仁多見 遼さん

IGR運賃の改訂について

質問 IGRは運賃が高いと言う声が多く聞こえるが、村が補助すれば苦情もなくなるのではないか。

答弁 列車の運賃は会社を維持経営して行く上で必要となる料金に設定されており、ご指摘のとおりIGRの運賃はJRと比べ高くなっています。新駅(青山駅・菓子駅)の設置により、05年から08年度まで4年連続で赤字決算となりましたが、今後車両の更新等に多額の設備更新費が見込まれますし、村内には、JRやバス事業者等も運行されており、公平性の観点から現状では難しいと考えますが、今後の課題と捉えています。



看護短大生
中軽米 桃李さん

ポリオワクチン接種について

質問 18年度の接種率85%、21年度は、44%と大きく減少、副作用などの報告から「生ワクチン」接種に抵抗を感じる母親が多いためと思われまます。また、導入が進められている「不活化ワクチン」の早い時期の導入と現状への対応をどのように考えているか。

答弁 国内において、麻痺を起こした事例では15例・二次感染1例、現在、不活化ワクチンの開発が進められ、実際に人に接種して安全性や有効性を確認する治験が行われています。24年度中には、不活化ワクチンを導入出来るものと思います。国による認定までは、「生ワクチン」接種をお勧めします。周知については、直接お知らせします。



県立大生
伊藤 舞さん

学生とのコミュニティは

質問 ①岩手県立大学に何を求めているか。
②村が支援する地域と学生のコミュニティは何か。

答弁 ①県立大学の知的資源を活用し、産学官の共同研究開発による新技術を活用し、産学官の共同研究開発に結び付けて「新産業の拠点」づくりをめざしています。
②村では学生達のプレゼンテーションを開催。地域では各種イベントやまちづくり委員会などに参加し、地元の活性化に繋がっています。

第3回新成人議会参加者アンケート

◎質問にあたって苦労したことや困ったことは何でしたか。
・どのくらいの質問量があればいいのか迷った。
・質問内容が決まっても、自分がなぜそういうような疑問を持ったのか、周りの人の意見や村での活動の今現在や、それに対する工夫やどんな風になってほしいのかという意見を考えたり、構成していくのが難しかった。

◎質問を終えての感想
・貴重な体験をさせていただきました。今後も村の活動に協力していきたいです。
・議場という2度と立ってない場所に立てて嬉しかった。とても緊張しましたが、有意義なものになりました。
・出席してみても、とても楽しい議会だった。
・人前が出るのが苦手なので、それも含め、いい経験でした。
・とても貴重な体験ができ、滝沢村への関心を高めることができました。
・同じ新成人の意見が聞けてよかったです。
・議員の方々がわかりやすく丁寧な答弁してくれたので、緊張したけど、とても楽しく感じましたし、これからの議会にも興味が増えました。
・とても緊張しましたが、何とか言えたのでホッとしました。教員になったときも、堂々と発言できるような教員になりたいと思います。

編集後記

本村では今年、新成人を迎えられたのは689名でした。その中から11名の方に、新成人議会に一日議員として村政に提言を戴きました。初めての壇上でもあり緊張したかと思いますが、日ごろ感じていることを、正々堂々と質問している姿を拝見して、将来議会議員として再び、議場で活躍して下さいことを期待し御礼申し上げます。今回、臨時号として新成人議会報を、発行することになりました。皆様の「意見」をお寄せ下さいますようお願いいたします。(委員 斉藤健二)